

ふるさと探訪

第44回 仏心寺



小松町新屋敷の西を流れる小松川に沿って、国道から10分も歩けば「円覚山仏心寺」に着きます。

仏心寺は、江戸時代の小松藩の藩主・一柳家の菩提寺として、慶安3（1650）年

に建立されました。創建にあたったのは二代藩主・直治公ななおはるで、その父・直頼公なおよりをお祀りし、藩主代々の菩提寺としました。開山は南明禅師なんめいぜんじで臨済宗・妙心寺派のお寺です。

創建以降も拡充が進み、小松陣屋の桜門・藩主墓所の御霊屋門みたまやもんなどがその後に移築されています。また、参道から続く立派な山門・庫裡くらり・供待ともまち（お供の侍が待機する）などは、江戸時代の雰囲気は今も残された建物です。

仏心寺は「文化財の宝庫」といわれるほどに市指定文化財があり、天然記念物の椿「明石蓮あかしれん」、中国原産

の「広葉杉こうようざん」、工芸品として三代藩主・直卿公なおあきらの書跡「鵬溟ほうめい・鯤海こんかい」と山号・寺号などの「扁額」四面があり、「藩主墓所」も文化財（史跡）に指定されています。

360年の歴史を過ごした仏心寺は、今も多くの木々と椿に囲まれて静かに時を過ごしています。

■住所

小松町新屋敷甲2452

TEL 0898-7212352

■駐車場 あり（無料）



▲ 仏心寺本堂

▲ 樹齡 200年を超える名椿・明石蓮

